

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年01月16日

計画の名称	和歌山市における暮らしを守る重要施設の地震対策と雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	和歌山市												
計画の目標	下水道施設の耐震化を行い、浸水被害の軽減を図るとともに、市民の暮らしを守る防災環境の形成を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,321	A	4,245	B	0	C	76	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.75	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道総合地震対策計画策定区域における緊急に耐震化の向上を図るべきと判断した特に重要なマンホールの地震対策実施率を0%（H29）から100%（H31）に増加させる。 下水道総合地震対策計画策定区域における緊急に耐震化の向上を図るべきと判断した特に重要なマンホールの地震対策実施率 重要なマンホールのうち、耐震化または減災対策が行われている数（箇所） / 緊急に耐震化の向上を図るべきと判断した特に重要なマンホール（箇所）	0%	50%	100%
2	被災時における避難所のトイレ使用を確保するため、緊急対策としてマンホールトイレを26箇所（H29）から39箇所（H31）整備する。 マンホールトイレ設置箇所数	26箇所	35箇所	39箇所
3	計画期間内における都市浸水対策達成率を49.5%（H29）から50.2%（H31）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	49%	50%	50%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
和歌山市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A全て								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	和歌山市	直接	-	-	改築	管渠施設耐震対策	マンホールの耐震化 80基	和歌山市						79	策定済	
	下水道総合地震対策計画																		
	A07-002	下水道	一般	和歌山市	直接	-		管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ設置	マンホールトイレ4箇所設置、1箇所設計	和歌山市						105	策定済
	下水道総合地震対策計画																		
	A07-003	下水道	一般	和歌山市	直接	-		管渠(雨水)	新設	雨水管渠	雨水管 450~U3300*1800 L=2,900m	和歌山市						1,516	-
	A07-004	下水道	一般	和歌山市	直接	-		ポンプ場	新設	雨水ポンプ場	松江雨水P場、島橋雨水P場、中島川雨水P場、和田川雨水簡易P場	和歌山市						841	-
	A07-005	下水道	一般	和歌山市	直接	-		管渠(雨水)	改築	管路施設長寿命化計画策定実施	管路更生	和歌山市						114	策定済
	下水道長寿命化計画																		
	A07-006	下水道	一般	和歌山市	直接	-		ポンプ場	改築	ポンプ場施設長寿命化計画策定実施	大淀雨水P場、新堀雨水P場、手平中継P場 長寿命化対策実施	和歌山市						1,510	策定済
	下水道長寿命化計画																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	和歌山市	直接	-	管渠(合流)	新設	合流管渠	実施設計	和歌山市						30	-	
	A07-008	下水道	一般	和歌山市	直接		ポンプ場	改築	ポンプ場施設耐震対策	手平中継P場 耐震対策実施	和歌山市						50	策定済	
											小計						4,245		
											合計						4,245		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	和歌山市	直接	-	-	-	マンホールトイレ設置	マンホールトイレ4箇所設置 、4箇所設計	和歌山市						76	-	
基幹事業と一体的に整備することで、被災時における避難所のトイレの利用効率を向上させる。																			
											小計						76		
											合計						76		

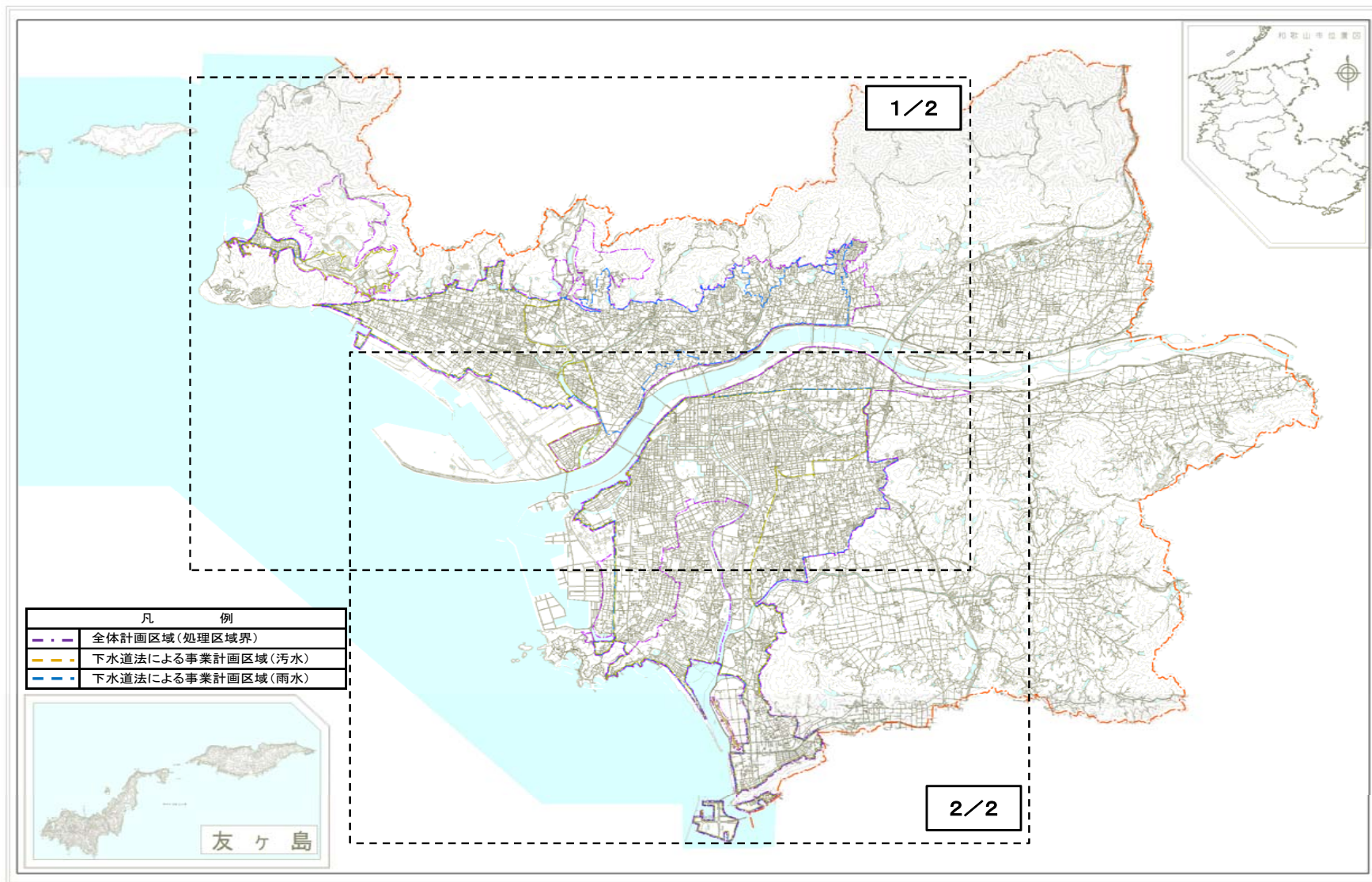
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29				
配分額 (a)	10				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	10				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	4				
翌年度繰越額 (f)	6				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

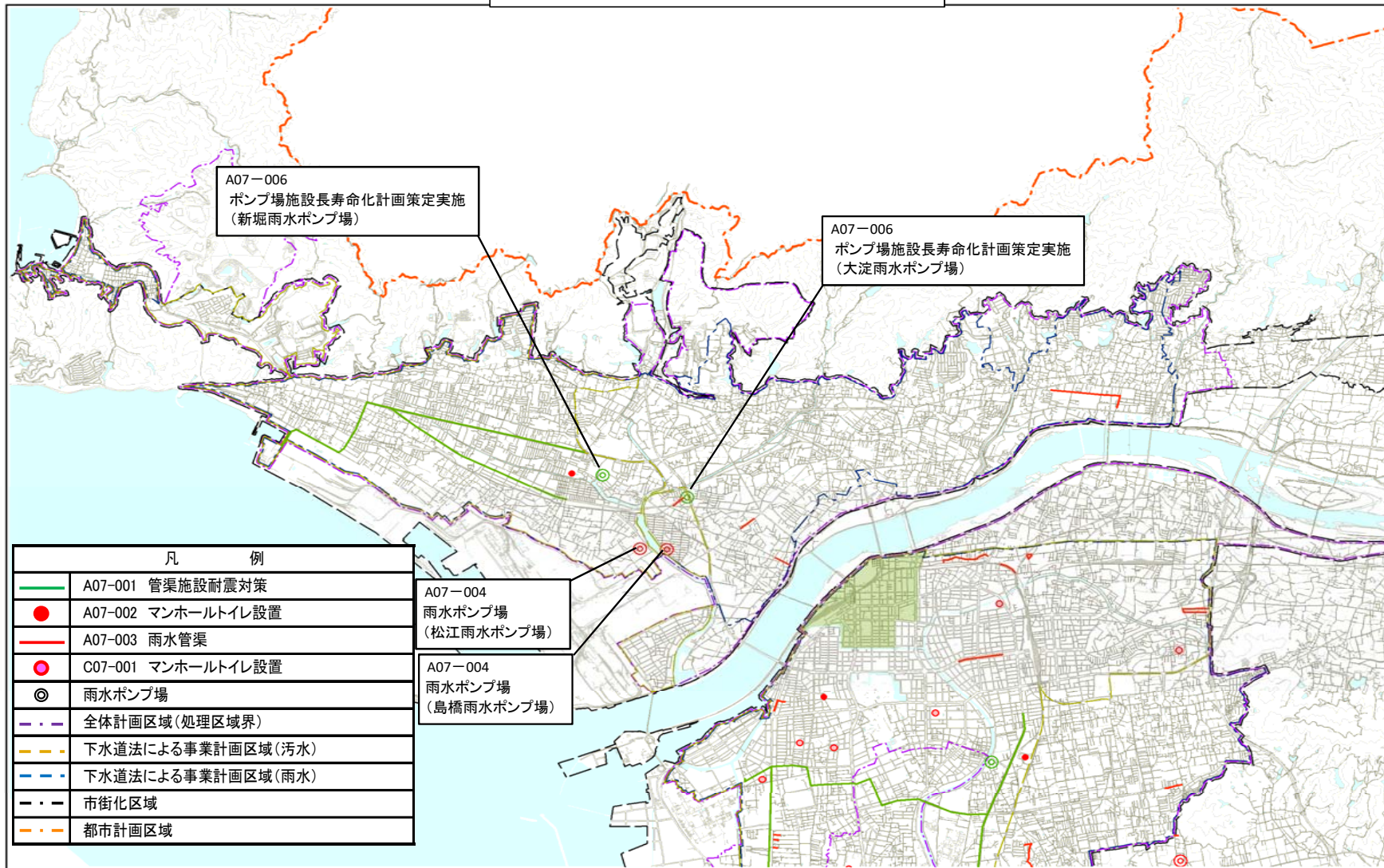
社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

計画の名称	和歌山市における暮らしを守る重要施設の地震対策と雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）	交付対象	和歌山市



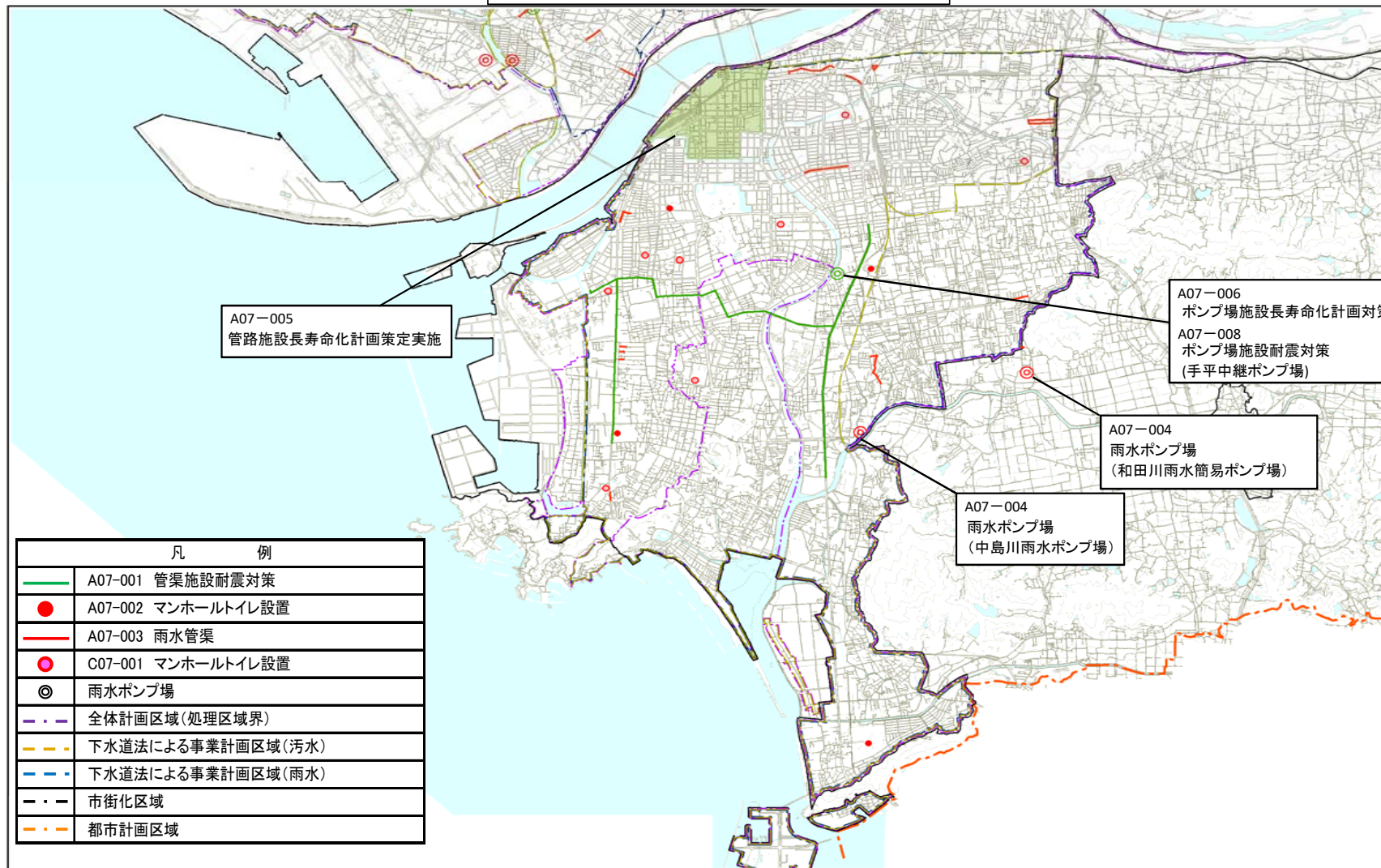
計画の名称	和歌山市における暮らしを守る重要施設の地震対策と雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）	交付対象	和歌山市

地震対策、浸水対策事業対象箇所図(1/2)



計画の名称	和歌山市における暮らしを守る重要施設の地震対策と雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）	交付対象	和歌山市

地震対策、浸水対策事業対象箇所図(2/2)





## 事前評価チェックシート

計画の名称： 和歌山市における暮らしを守る重要施設の地震対策と雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
III. 計画の実現可能性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

1) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。

○

III. 計画の実現可能性

2) 事業実施に関し、住民に対する説明が行われている。

○